令和5年度 第1回 志摩市総合教育会議 議事録 (概要)

- 1 日 時 令和5年9月20日(水) 13:30~14:30
- 2 場 所 志摩市役所5階 庁議室
- 3 出席者 橋爪政吉市長、舟戸宏一教育長、濱口茂之教育長職務代理者、
山下行重教育委員、坂中小百合教育委員、柴原千峰教育委員
(事務局) 箕浦政策推進部長、出口総合政策課長、米奥係長
井上教育部長、山本教育総務課長、金光学校教育課長、
村井学校教育課副参事、澤田総合教育センター長
- 4 議 題 (1) 次代を担う国際人材の育成
(2) 快適・安全に学校生活を過ごせる環境づくり

事務局	<p>皆様方には、大変お忙しいところ、ご出席いただきましてありがとうございます。事務局の総合政策課長の出口と申します。どうぞよろしくお願いたします。皆様におかれましては、令和5年度第1回の総合教育会議となりますので、自己紹介からお願いしたいと思います。</p> <p>【自己紹介】</p> <p>会議の前に資料の確認をさせていただきます。委員の皆様には事前に事項書と令和5年度第1回志摩市総合教育会議の資料をお送りしております。また、参考資料としまして、本日、志摩市総合教育会議設置要綱をお手元に配付いたしました。</p> <p>【資料確認】</p> <p>それでは、本日の総合教育会議につきましては、志摩市総合教育会議設置要綱第6条の規定により、公開で行い、議事要旨及び資料についても公開いたしますので、ご了承ください。</p> <p>それではここからの進行につきましては、同要綱第4条第3項により、議長である市長をお願いいたします。</p>
-----	--

<p>市長</p>	<p>ただいまから令和5年度第1回志摩市総合教育会議を開催いたします。少しご挨拶をさせていただきます。</p> <p>皆様におかれましては、本日はお忙しい中ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。ご存じの通り、本年6月に交通大臣会合がありました。この交通大臣会合の折に、磯部小学校へはアメリカ、大王中学校へはフランスの政府関係者の皆様が交流を持っていただき、本当に素晴らしい機会になったのではないかと考えております。また、イギリスの代表団においても、小中学生が作成した千羽鶴の国旗に大変感動したということで、鵜方小学校の子どもたちが作成した千羽鶴の国旗をぜひ英国大使館へ寄贈してほしいということで、東京にある英国大使館に寄贈し、現在、飾っていただいている状況です。このG7三重・伊勢志摩交通大臣会合の開催においては、志摩市の国際理解を深め、世界でも活躍できる人材の育成を目指す上で、志摩市の子どもたちにとって大変素晴らしい影響を与えたのではないかと考えております。</p> <p>また、今夏において、様々な気候変動の中で本当に猛暑が続いている状況があると思います。一昔前と比べると考えられない状況でもあると思いますので、今後、学校生活の在り方についても、こういった変化を捉えた形で、若干の軌道修正をしながら、見直しをしていくことが大変重要であると感じておりますので、引き続きご理解・ご協力をいただければと思います。</p> <p>本日の総合教育会議では、「次代を担う国際人材の育成」「快適・安全に学校生活を過ごせる環境づくり」の2つの議題についてご議論をさせていただきたいと思いますので、皆様それぞれの視点から、忌憚のないご意見をいただければと思いますので、よろしくお願いたします。</p> <p>それでは、お手元の事項書に沿って進めさせていただきます。</p> <p>議題1、次代を担う国際人材の育成について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>【資料に基づき説明】</p>
<p>市長</p>	<p>それでは、事項書1の事項につきまして、皆様からご意見をいただければと思います。</p>
<p>教育委員</p>	<p>まず、小学生中学生の外国語学習ということで、常日頃から英単語が目に入る校内環境、例えば浜島小学校では階段や扉など、学校内のあらゆる場所に英単語が掲示されていますが、市内の各学校でも実施し、</p>

	<p>学校にとどまらず市全体の観光施設等に英語表記をして、国際的環境づくりに力を入れると、子どもが小さいうちから、英語・外国語に触れる機会が増えて良いと思います。また、校内放送に英語を入れてみる、みんなが英語で話す日、話す時間を設けるなどの試みを、他の課題も考慮しながら取り組むことも大事だと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
市長	<p>ありがとうございます。その他にご意見はございますか。</p>
教育委員	<p>小学校の低学年では、英語でゲームをすることなどから始まって、英語への抵抗感を減らしていくことも大事だと思いますが、しっかりとした国際感覚や英語力をつけることもやはり大事だと思います。ですので、英語科の教員免許を持った小学校教員を増やすことで、小学校の授業力向上に繋がるのではないのでしょうか。ただ、教科の免許取得や採用が関係するため、長い目で見ると必要もあるかと思いますが、小学校の英語教員が増えると良いと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
市長	<p>ありがとうございます。他にございますか。</p>
教育委員	<p>就学前の児童の様子をお話します。就学前では、物的環境や人的環境など、広く色々な環境を整え、ふれあうことで育っていきます。その中で外国の方に来ていただくと、初めてテレビではなく外国語を直に体験する子どもたちがたくさんいて、様々な反応があります。小さな子どもたちですので、少しの時間ふれあうだけでは、また違う興味に移っていくことも多いのですが、この初めての出会いの体験を楽しかったものにして、次の機会に繋げていくよう努めています。小学校は外国語への小さな繋がりとなるところです。就学前でも外国語体験の取組も高めていければいいと思います。</p> <p>市内で統一して方針を持っていただけるとありがたいと思います。</p>
市長	<p>ありがとうございます。他にございますか。</p>
教育委員	<p>環境づくりに加えて、国際交流協会への外国語ゲストティーチャーの協力依頼など、教育委員会の枠を超えて、市長部局と協働できる多文化共生、外国語学習もあると思いますので、連携した取り組みの充実をよろしくをお願いします。</p>

市長	<p>ありがとうございます。その他はよろしいでしょうか。それぞれのご意見本当にありがとうございます。少し私からお話をさせていただければと思いますが、ALT の関係からお話をさせていただくと、会計年度任用職員で、フランス出身のキャミ先生が固定で居ていただくというのは、先ほど就学前のお話もありましたが、関係性を持つ時間が長くなり、要は先生の入れ替わりがないという表現になってしまいますが、子どもたちと長い時間共有できるという可能性のある先生がお一人できたということは、非常にありがたいところであります。</p> <p>彼女はフランス人であり、フランス語も少し混ざっていますが、ネイティブな英語やフランス語を少し聞くことができるなど、直接外国の方と接するというのは、子どもたちにとっては非常にインパクトのあることではないかと思っています。先ほどお話いただいたとおり、今後、英語科の先生も含めて、大変重要な課題であると思っています。</p> <p>そして、今回のパラオ共和国関係の人材交流についてですが、在日の大使がお話をしていたのですが、パラオにおいて、日本の学生さんたちとの国際交流というのは、パラオが始まって以来今回が初めてのことで非常に楽しみだというお話をいただきました。そんな中で、6人の子どもたちが渡航する前と帰ってきた後の表情が全く違うという状況を感じ取らせていただいて、これは、一つのチームとして、今回我々はミッションに行って来たんだというような思いが、子どもたちの表現の中で伝わるような場面をひしひしと感じました。自分たちが、今回の中学生の海外派遣事業で出すべきことを、身を持ってしっかりやってきたという意気込みを感じられました。平和教育であるとか、パラオ共和国の方々との深い交流ができたのではないかと感じています。</p> <p>タイミングが遅れて帰国後になってしまい申し訳なかったのですが、実はパラオのクニオ・ナカムラ元大統領が伊勢市出身で、この方の御祖父様が大王町船越出身で、パラオ共和国は、志摩市と大変ゆかりの深い地域だということも6人の子どもたちにはお伝えさせていただきました。令和6年度以降にもパラオ共和国の学生さんと人材交流ができるのであれば、ナカムラ元大統領のルーツが我々志摩市にあるということをお伝え、より一層理解を深めていただき、研修に行ってくださいとより実りあるものになるのではないかと感じたところでもあります。</p> <p>最後の高校生への奨学金の協力であるとか、そういった部分においても引き続き実施していきたいと思っておりますし、令和6年度以降、実習船しろちどりが新しく造船されます。まさに水産高校が今でも専攻科に行き</p>
----	---

	<p>たいという子どもたちがたくさんいて、倍率がとても高く専攻科を望んでも入れないくらいの学校になってきているとお聞きしております。そもそも高校自体の定員がなかなか達しない部分もありますので、このしろちどりの新造船が起爆剤になって、水産高校へ通いたいと思う子どもたちが増えることを願っておりますし、非常に大きな予算を三重県が組んでいただいて、しろちどりを造っていただくということで、資格の部分においても、三級海技士の免状を専攻科に行って取っていただくということが、より卒業生のキャリアアップにも繋がりますし、海洋立国でもある日本においては、なくてはならない人材がこの志摩市の水産高校でつくれるということは、我々においても非常に大切なことだと思っておりますので、引き続き志摩高校・水産高校との連携を進めさせていただければと思っております。</p> <p>以上で様々なご提言をいただいた部分でもありますので、やはり英語が身近にある社会が必要であると思えますし、それを具現化するために、英語の先生を増やしていくことや、外国の方々と接する機会を増やす、また、国際交流協会との連携ということも踏まえながら今後進めさせていただければと思えますので、よろしく願いいたします。</p> <p>中学生の海外派遣事業についてですが、パラオ派遣事業の成果からもわかるように目標や目的があると子どもたちの英語学習への意欲も高く、国際交流は大変意義深いと思えます。</p> <p>事前学習やビデオのやりとりが交流の深化に役立ち、成果を上げましたが、他の多くの子どものために伝え広める事が大切です。</p> <p>海外派遣事業は、増員も含めてぜひ継続をお願いします。またパラオからも志摩市への招致も検討してはどうかという思いもありますので、その点もよろしくをお願いします。</p>
教育委員	
教育委員	<p>英語の習得は、国際交流の一つの手段として身に付けることは非常に大事なことです。一方で話す内容も大事になってくると思えますので、日本の文化や郷土、志摩市についてよく知った上で、自分の意見を持ち、コミュニケーションができるよう育てるということに、力点を置いていかなければならないと思えます。そういった方面でもまた充実させていただければと思えますので、よろしく願いいたします。</p>
市長	<p>先ほどの招致の件は、少しがんばらないといけない話ですが、増員については、教育委員会から令和6年度予算で要求していただくかと思</p>

<p>教育長</p>	<p>ますので、検討させていただきたいと思います。また、やはり地域のことを知って、どう表現していくのか、その内容は大変重要であると思いますし、私も5月にスペインへお邪魔させていただいたときに、スペインのスポーツ庁の長官が立会人で、トライアスロン連盟と覚書に署名をしたのですが、そのときもどのように志摩市のことをお伝えするかというのは、日本語で伝えるのも難しいですが、それがスペイン語になると余計に伝えづらくなるので、知識や技術などの部分も大変重要だと思います。地域のことを知るといことも大事だと思いますので、ぜひしっかりと進めたいと思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>今回国際人材の育成というテーマをいただきましたので、国際感覚あるいは国際理解というのは、教育委員会も大事にしたいことですし、志摩市としても大事にしていくところだというような共通理解の下で、まずは、学校教育の中でどのようなことができるかというような提案があったと思います。小学校の先生は、大学で学ぶときから英語を教えるという覚悟で先生になった人ばかりではないので、そのあたりをどう補完していくのかということが、小学校への英語の導入があったときに、教育委員会でも課題になりました。総合教育センター長から報告がありましたように、大きな枠を割いて英語教育の指導の仕方に力を入れておりますので、その成果が出てくることを期待したいと思います。また、それを補完するものとしてALTの存在はやはり大きいと思いますので、引き続きALTを配置しながら、子どもたちが直に英語に触れるような機会を確保していきたいと思っております。</p> <p>今回私もパラオへ行かせていただいて、国際感覚を養うというのは、やはり直接外国へ行くということが一番の機会だと実感しました。せざるを得ない状況になったときに、人間は必死になるので、その中で得られたものは大きいと思います。現意志摩市の全ての子どもたちがそういった体験ができる保証はありませんが、一人でも多く、そういった体験ができると良いと思います。大使館に行った際には、大使から、外交官の仕事も魅力的なのでいかが問われたときに、6人中5人が手を挙げました。そんなにも外国へ行ってしまうと困りますが、現地で受ける刺激が大きいというのは確かですので、国際感覚というのは、学校の授業等でも目指してはいきますが、「百聞は一見に如かず」が大きいということを実感したところです。</p>
<p>市長</p>	<p>ベースを日本に置き、日本と海外を行き来していただけることが大事</p>

	<p>だと思えます。教育長がおっしゃっていただいたこともそうですが、やはり実際に現地に身を置くということは大事だと思います。例えば今志摩市の18歳で、一人でメキシコにいる方がいるのですが、彼は14歳から一人でメキシコに行ったり、アメリカに行ったり、ハワイに行ったりと、世界中を一人で行っている青年です。ビザの関係で基本的には日本に戻っては来ますが、ネイティブの子どもたちと接する中で、やはり今普通に、英語とスペイン語を話すことができ、またメキシコではご自身で仕事を起こして、お店を始めている状況があります。やはり、体一つで行くと、人間というのは生きるためにそこへ順応しようとするということを、私も見ていて非常に感じたところでもありますし、今回教育長も身をもってそれを感じたのではないかと思います。ありがとうございました。</p> <p>以上でよろしいでしょうか。</p> <p>それでは次の議題へ移りたいと思いますので、よろしく願いいたします。議題2、快適・安全に学校生活を過ごせる環境づくりについて、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>【資料に基づき説明】</p>
市長	<p>それでは、この議題について、ご意見のある方はよろしく願いいたします。</p>
教育委員	<p>熱中症対策につきましては、今年は特に暑かったですが、幸い志摩市では大きな事故もなく、過ごすことができました。一方で今年の7月末に、山形県の女子中学生が部活帰りに死亡した、大変痛ましい事例が起こっております。気温が35.5°あり、熱中症の疑いがあるということですが、これからは部活動時だけでなく、登下校時も十分に気を付けていく必要があるということで、対策を充実していかなければならないと思っております。また、こどもSOSの家など、地域住民やコンビニなどSOS施設の提携拡大と、児童生徒への周知や確認を徹底していくということも必要があると思います。そういった形で、登下校時の対策の充実を図っていかねばならないと強く思っております。</p>
市長	<p>ありがとうございます。他にございますか。</p>
教育委員	<p>子どもたちのスポーツや、大規模スポーツ行事開催のためには、社会</p>

	<p>教育施設も含め、体育館への空調整備が進められていくものと思います。今まではできない理由を挙げたりしていたと思いますが、どうしたらできるのかというようなことを考えることが大事だと思います。国からの補助金も考えられますので、今後はこれまでよりも設置をしていきやすくなるのではないかと考えます。そういったような点で動向をしっかりと見極めていくことが大切であると思いますので、よろしくお願いします。</p>
市長	<p>ありがとうございます。他にございますか。</p>
教育委員	<p>災害時の子どもの下校についてですが、実際の被害状況は、例えばこの川が氾濫しているかなどを把握して、実施方法やタイミングを判断していく必要があると思います。Google フォームのアンケートを活用することはすごく良いことだと思うので、するのであれば全学校が共通してそのシステムを活用していけるようになれば良いと思いますので、よろしくお願いします。</p>
市長	<p>ありがとうございます。他にございますか。</p>
教育委員	<p>子どもたちは色々な取組の中で、今は学校生活において見守りや指導を受けながら過ごしていますが、やがて熱中症対策や関連対策、災害時にも自ら判断して正しく対応していけることが必要になると思います。その姿を目指していけるように指針として持っていきたいと思います。</p>
市長	<p>ありがとうございます。</p>
教育長	<p>一つは気候の変化が大きく変わってきたということで、どう対応するかということ。それから、コロナがあったこの3年間での色々な価値観の変化を含めた対応ということもあると思います。対応としては、新しく何かを投資すること、例えば、体育館の空調というのはその一つだと思います。厳しくなった気候変動に対応するために、投資をすることによって解決しようとするとともに、できる工夫で解決できるものもあるかもしれません。先ほど委員が言っていたように、自分たちの力で命を守るための工夫もあるかもしれません。私が今回このコロナのことで一番思ったことは、暑さも含めてなのですが、運動会・体育祭の変化があります。今までは秋に開催していたが、最近では春先の5月末</p>

	<p>から6月に行われてきました。これはコロナ以前からの暑さ対策として起こっていた現場での変化であり、工夫だと思いますが、このコロナによって今までの体育祭ができなくなりました。つまり、全学年で全ての保護者が集まって行う体育祭ができなくなったので、現場は何をしたかという、分散して開催することや日曜日以外の平日に開催することも考えるなど、そういうような工夫も出てきました。このコロナが終わることによって、それが元に戻ったかというそうではない。保護者の意見が二つに分かれましたが、いくつかの学校では、平日に開催しても十分できるので、平日の方が良いという意見もたくさんあり、給食の問題もありますし、そういった内容も含めて、平日に開催できる可能性が見えてきたりもしました。また、こちらも意見が分かれるところではありますが、学年を低中高に分けて開催することによって集中して見ることができるので、その方が良いという保護者の意見がたくさんあります。ただ、そこには一堂に会せない寂しさもありつつ、分散でもできるのではないかという工夫の仕方もあると思います。そういったところに可能性のようなものを感じた次第です。</p> <p>また、大変暑い中ではありますが、新人戦が先週の土曜日から始まりました。これはまだ私の頭の中で考えているだけですが、新人戦の開催について、この時期でなければならないのかということ、もう一度考えてみる必要があるのではないかと思います。もっと涼しくなった時期に開催する可能性がないのか、また、今までこうであったからこうでなければならないということ、少し崩してみることで、新たな対応が生まれるかもしれないということ、最近実感したところです。</p> <p>ありがとうございます。今回、本当にたくさんのご意見をいただき非常にありがたいと思っています。昨今の気候変動は、そもそも人間の力ではどうすることもできないことなので、いかにそれに合わせた対応をしていくのかということが大事になってくると思います。教育長が今おっしゃっていただいたように、どのように生き方を工夫するか、ということが全ての案件において大事になってきています。志摩市の市政運営においても、非常に重要な課題になってきているところもあります。</p> <p>そんな中、今回の山形での事件や事故が、本当に目を覆いたくなるような事案がこの暑さの影響で発生しています。お子さんの話ではありませんが、今年志摩市では、室内で熱中症になられるご老人が大変多いです。それは、様々な注意喚起を行っていても防ぐことがなかなか難しい部分であり、これまでは考えられない状況になってきていると思いま</p>
市長	

すので、施設の投資や様々なデジタル技術を活用して、子どもたちをどのようにして守ることができるのか、また、そもそも子どもたちの自己防衛をどういうふうに変えていくのかという部分は、本当に卵もニワトリも全てやらないと駄目だと思っております。やはりお金には限界がありますが、知恵を出し合うことには限界がないと思っておりますので、ぜひこういった形で、この総合教育会議の場においても、皆様のご意見をいただければと思いますし、我々として真摯に受け止めてさせていただき、やれることは一つずつ、スピード感を持ってやっていきたいと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。ありがとうございました。

最後になりますが、他に何かあればよろしくお願い致します。

それではその他事項について、発言があります方はよろしくお願い致します。

無いようですので、以上をもちまして閉会とさせていただきます。ありがとうございました。